

		環境管理学専攻		専攻必修科目		
自然環境論 Environmental Conservation of Nature		1年	後期	2単位	選択	実習
		担当者(部屋番号省略)				
藤田 (763)						
【 授 業 目 標 】						
日本には田畑や雑木林が広がる里山の自然から、山奥の原生的な自然まで幅広く自然が存在している。世界の自然と比較して日本の自然の特徴は？また、生物多様性の観点から日本の自然環境は豊かなのか貧弱なのかについて理解し、その管理のあり方を修得することが目的である。また、到達目標は、具体的ケーススタディにおいて、自然環境保全に配慮した開発の方法を検討する力を持つことを目指す。						
【 授 業 方 法 】						
資料配付、質問の受け答えによる講義及びグループ討論、割り当て発表を織り混ぜて行う。						
【 授 業 計 画 】						
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自然環境、身近な自然と原生的な自然の定義</li> <li>2 日本の自然環境の現状と特徴Ⅰ</li> <li>3 日本の自然環境の現状と特徴Ⅱ</li> <li>4 国立公園が持つ日本の自然環境における役割</li> <li>5 生物多様性の観点からの自然環境管理Ⅰ(帰化動植物)</li> <li>6 生物多様性の観点からの自然環境管理Ⅱ(イリオモテヤマネコとシマフクロウ)</li> <li>7 生物多様性の観点からの自然環境管理Ⅲ(サルの人との共生法)</li> <li>8 生物多様性の観点からの自然環境管理Ⅳ(生物多様性の国家戦略1)</li> <li>9 生物多様性の観点からの自然環境管理Ⅴ(生物多様性の国家戦略2)</li> <li>10 生物多様性の観点からの自然環境管理Ⅵ(第10回生物多様性条約締結国会議)</li> <li>11 自然環境と調和した開発方法Ⅰ(イヌワシ、クマタカなどの猛禽類生息地)</li> <li>12 自然環境と調和した開発方法Ⅱ(自然公園内のスキー場開発など)</li> <li>13 自然環境と調和した開発方法Ⅲ(中国遊牧地におけるCarrying Capacityの配慮)</li> <li>14 白神山地の自然</li> <li>15 里山の自然環境問題</li> </ol>						
教科書	なし。独自の資料を配付する。			評価方法	筆記試験又はレポート、割り当て発表内容、出席状況等により総合的に評価する。	
参考書	エルトン：侵略の生態学(思索社) 沈みゆく箱舟(N. マイアース、岩波現代選書) 恒続林思想(アルフレートメー			留意点	分からないことがあれば積極的に質問すること。また、自分の意見、主張を持つこと。	